

平成30年度学校自己評価システムシート (県立与野高等学校)

目指す学校像	「二兎を追い、獲得する」をモットーとして、学力と創造力及び他者を尊重する心を育み、一人ひとりの進路実現を目指す学校
--------	---

重点目標	1 幅広い教養と確かな学力の向上を図り、進路実現を支援する。 2 自己を律し、他者を尊重する精神と、自らが主体的・能動的に行動する意識を育成する。 3 保護者・地域に積極的に説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			実 施 日 平 成 3 1 年 2 月 5 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p><現状> 4年制大学進学を希望している生徒が約80%いる。進学実績も上位大学の合格者数も年々上昇している。一方、家庭学習の定着が不十分である。</p> <p><課題> 今後の高大接続改革・新学習指導要領等に対応できるよう生徒の自主的・自律的に学ぶ姿勢を身に付け、学習習慣を定着させる。また、生徒が高い志を維持して、進路の準備に取り組めるよう指導していく必要がある。</p>	<p>○授業充実と生徒の学力向上</p> <p>○生徒の希望の進路実現</p>	<p>①校内授業公開週間の実施(1・2学期各1回)</p> <p>②教科シートを踏まえた授業充実を目的とした職員研修会の実施</p> <p>③家庭学習を定着させる教科等の取組</p> <p>①進路ガイダンスの充実、面談・大学出張講義の実施、模試等の進路支援ツールの活用</p> <p>②将来構想検討係における活動(新教育課程・学習の充実・生きる力)のさらなる検討</p>	<p>①授業公開の参加者</p> <p>②職員研修会の実施状況</p> <p>③生徒アンケートの結果(授業満足度・家庭学習に対する自己評価等)</p> <p>①生徒アンケートの結果(進路意識等)</p> <p>②将来構想検討係の活動状況</p>	<p>将来構想検討係が中心となって、本校の目指すもの・思考力アップ・高大接続改革等を検討した。</p> <p>○年間2回の授業公開・3回の職員研修会を実施。</p> <p>○生徒アンケートにおける、授業満足度81%(前年度80%)、家庭学習不十分との自己分析61%(前年度66%)</p> <p>○将来構想検討係がより具体的なものとなり、充実したものとなった。</p>	A	<p>○生徒の家庭学習の時間や進路に対する意識が年々微増している。数年後の高大接続改革・次期学習指導要領等に対応するために、大学入試改革に対応できる学習指導・進路指導において、具体的なプランを策定し、実践に移すことが課題である。</p>	<p>○新しい大学入試制度に対応した取組は、評価できる。</p> <p>○授業中、意見を出し合う場面では、クラスメイトを信頼して様々な意見を受け入れている様子がうかがえた。</p>
2	<p><現状> 落ち着いた校風の下で、多くの生徒が生徒会活動・部活動に取り組んでいる。一方、現状に満足し積極性に欠ける傾向がある。</p> <p><課題> 「二兎を追い、獲得する」をモットーとした活動を継続し、生徒に身につけてほしい力を、学校全体で考え、学力のみならず学校行事・部活動等をよりいっそう充実したものにすることが課題である。</p>	<p>○生徒会・部活動、地域と連携した活動の推進</p> <p>○生徒の規範意識のさらなる向上</p>	<p>①学校行事・部活動をとおして、生徒を積極的・主体的に活動させる指導の継続</p> <p>②学校づくり懇話会での生徒会等の活動についての意見交換</p> <p>③生徒が地域で活動する取組の拡充・実施</p> <p>①マナー指導・SNS指導等をとおして、他を思いやる心の育成</p> <p>②登校指導・PTAと連携した交通安全指導・遅刻指導・整容指導の継続的実施</p> <p>③在り方生き方教育・人権教育・生活体験講話等の実施</p>	<p>①部活動及び行事の満足度・学校満足度</p> <p>②学校づくり懇話会での意見交換が活かされたか。</p> <p>③保育体験や小高連携事業の充実・参加者数の増加、体験を表現する機会の設定</p> <p>①いじめアンケート等の結果及びその対応状況</p> <p>②校外における生徒の生活マナーの状況</p> <p>③生活講話等のアンケート結果</p>	<p>「二兎を追い、獲得する」が浸透し学校行事・部活動・小高連携事業等がより充実した。</p> <p>○生徒アンケートの結果は、行事に意欲的に取り組んでいる89%(前年度86%)、部活動に意欲的に取り組んでいる74%(前年度74%)、学校のルールを守って生活しているとの回答97%(前年度86%)。</p> <p>○いじめ認知件数は、0件。</p> <p>○学校づくり懇話会は、生徒から多くの意見がでて、活発なものとなった。</p> <p>○生徒の生活マナーは継続して良好であった。</p>	B	<p>○行事や部活動に意欲的に取り組んでいる生徒が前年に比べ微増している。生徒に身につけてほしい力を、学校全体で考え、各教科の授業・学校行事・部活動などそれぞれの場面ごとにどの力を育成できるかという検討をし、学力のみならず学校行事・部活動等をよりいっそう充実したものにすることが課題である。</p>	<p>○生徒が「二兎を追い、獲得する」ために、目標をしっかりと設定し頑張ってもらいたい。また、生徒の夢を明確にするために、様々な職業の人の話を聞く機会を設けると夢が鮮明になってくるとともに先生も生徒を指導しやすいのではないかと。</p>
3	<p><現状> 本校の教育活動が地域に理解され、地域に根ざした学校として地域との交流を行っている。また、HPの充実や一斉メール配信が軌道にのってきた。</p> <p><課題> 学校からの情報発信をより一層充実させ、保護者・地域等とのさらなる信頼関係を構築する。</p>	<p>○保護者・地域等の連携の進化</p>	<p>①ホームページ・メール配信サービスのさらなる充実</p> <p>②学校説明会の充実</p> <p>③地域の学校等と連携拡充</p>	<p>①ホームページ更新・メール配信の頻度・回数。</p> <p>②学校説明会の参加者数</p> <p>③部活動も加えた小高連携事業の充実、地域連携の取組状況</p>	<p>ホームページ・メール配信による情報発信、学校説明会は、前年度より充実したものとする事ができた。</p> <p>○学校説明会参加者数はのべ約3,600名であった。</p> <p>○幼小中校との連携事業は、地域との信頼構築及び学校の広報に一貫になった。</p>	A	<p>○ホームページによる情報発信は継続して充実させる。特に部活動のページの更新を頻繁に行う。</p> <p>○部活動を含めた地域と学校との連携について推進する。</p>	<p>○地域交流に参加した各校の生徒からアンケートや手紙の交換をすることでさらに行事が充実する。</p> <p>○地域に根差した交流活動を盛んに行うことでより学校の魅力が高まる。</p>